

科目名称	コミュニケーション技術	学年学期	単位数	時間数
		第1学年 前期	1	30
担当教員	太田 美枝	授業に関わる 実務経験	☒ 有（看護師） ☐ 無	

【1】授業概要

対人関係の形成は看護の基礎である。学生のコミュニケーション能力を強化し、看護の対象やチームメンバーとのよりよい対人関係を形成するための基礎的技術を習得する。

【2】学習目標

1. 非言語コミュニケーションを理解し、活用する事ができる。
2. 傾聴の技術の基礎を知り、活用できる。
3. 日常や看護場面での適切な自己表現を習得する。

【3】第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- 1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
- 2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
- 3. 地域の特性を看護に生かす力
- 4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
- 5. 主体的に学び続ける力

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	コミュニケーションの基礎的知識	講義
2	アサーティブコミュニケーション①	講義
3	アサーティブコミュニケーション②	講義
4	カウンセリングの基礎 傾聴の技法	講義
5	カウンセリングの基礎 共感の技法	講義
6	カウンセリングの基礎 応答の技法	講義
7	集団におけるコミュニケーション方法 ほうれんそう	演習
8	集団におけるコミュニケーション方法 カンファレンス	演習
9	プロセスレコード①	演習
10	プロセスレコード②	演習
11	ベッドサイドにおけるコミュニケーション技術(患者さん編)①	演習
12	ベッドサイドにおけるコミュニケーション技術(患者さん編)②	演習
13	ベッドサイドにおけるコミュニケーション技術(実習指導者への報告・連絡・相談編)①	演習
14	ベッドサイドにおけるコミュニケーション技術(実習指導者への報告・連絡・相談編)②	演習
15	試験・まとめ	

【5】評価方法

1. 筆記試験 70点
2. 課題 30点

【6】教科書

茂野香おる:系統看護学講座 専門分野 基礎看護学2 基礎看護技術I(第19版) 医学書院 2025(電子版)

【7】参考書

授業で随時提示する。

【8】受講生へのメッセージ

看護師として相手を知るためには、相手に関心をもって共感できる能力が必要です。コミュニケーションを看護の実践に必要なツールとして、どのような場面でどのように使えば良いかを理解し、技術の習得をめざします。そのために、自分の体験を振り返りながら、自分のコミュニケーションの傾向を深く見つめる学習をおこないます。最終的に日々の生活や臨地実習において活用できるようになることをめざします。